

## 全国有数を誇る茨城県のプラスチック成形業界の将来を担う開発人材を育てる！

### 【内 容】

茨城県は、全国有数のプラスチック関連産業の集積地であり、プラスチック成形加工業などが含まれる「プラスチック製品製造業」の製造品出荷額等は、全国第2位（2022年経済構造実態調査）となっています。

その中で、繊維高分子研究所が位置する県西地区は、県内出荷額等の約4割を占めるほど関連企業が集中しており、プラスチック関連産業の集積エリアとなっています。

こうした県としての強みである産業の発展を支援するため、企業の中核となって未来を担う“開発人材”の育成に力を入れ、産業発展の原動力となる技術力向上を支援しています。

### ○射出成形に関わる開発人材の育成

表1 研修の概要

- ・場所 繊維高分子研究所
- ・人数 4人程度/回

項目	内容	時間(h)
講義	射出成形知識（初級）	1.5
実習	金型設定、成形条件等	3.5

射出成形企業の開発人材育成を目的に、基礎講義と実機を用いた実習を組み合わせた研修を実施しました。研修では、まず講義を通じてプラスチック材料の特性や射出成形の基本理論について体系的に学び、実習では、実際の成形機を操作しながら、成形の一連の手順や作業時に注意すべきポイント、ページ作業における注目事項などを、現場に近い環境で体験していただきました。

座学で得た知識を実機の操作と結びつけることで、理解をより深め、現場で活かしやすいスキルの習得につながる構成としています。令和7年度は初級レベルの研修を2回開催し、県内の3社から計7名の方にご参加いただきました。

### 【研修の成果】

研修の受講者からは「座学と実機実習が連動しており理解しやすかった」「座学・実習ともに今後の業務に役立つ」といった評価が寄せられ、企業の技術力の底上げに貢献することができました。

今後も茨城県プラスチック振興会と連携し、現場ニーズを踏まえた研修を継続的に企画することで、プラスチック関連産業の発展につなげていきます。

### ○射出成形技能検定の開催を支援



図1 実施会場

技能士資格の取得は技能向上にとどまらず、成形理論と実技の双方の理解を深め、企業の技術力・競争力の強化に直結する重要な取り組みです。

当所では、毎年、試験会場として射出成形機を貸出することで技能検定の実施を支援しています。また、地域企業からなる茨城県プラスチック振興会（正会員61社、賛助会員9社）は、検定委員としての協力を働き、本技能検定の中心的な役割を担っています。

今年度も、1級9名、2級23名、随時3級の方々が当会場で受検されました。